

プロローグ 人間とは何か…………… 4

第1編 現代に生きる自己の課題

▶p.6 1 人生の中の青年期…………… 8

2 自分を見つめる…………… 11

3 社会を生きる…………… 16

第2編 人間の生き方と社会のあり方

第1章 哲学と宗教の源流…………… 22

第1節 古代ギリシアの思想

▶p.10 1 万物の始源の探究…………… 22

▶p.12 2 ソクラテス…………… 24

3 プラトン…………… 27

4 アリストテレス…………… 30

5 ヘレニズムの思想…………… 33

第2節 唯一神の宗教

1 イスラエル民族と一神教…………… 35

2 イエスの思想とキリスト教…………… 37

3 キリスト教の発展…………… 41

4 イスラームの始まり…………… 46

第3節 古代インド思想と仏教

1 古代インド思想の形成…………… 49

2 仏陀と仏教…………… 52

3 仏陀以後と大乘の発展…………… 56

第4節 中国思想

▶p.14 1 中国思想の源流…………… 58

▶p.16 2 儒教の始まり 孔子の思想…………… 60

3 儒教の再構築

孟子・荀子・法家思想…………… 63

4 儒学の展開 朱子学・陽明学…………… 66

5 老荘思想…………… 68

第2章 日本の思想の歩み…………… 70

第1節 日本の自然と日本神話

1 日本の自然と風土…………… 70

2 日本の神話と古代日本人の宗教観…………… 72

3 神道の成立とその展開…………… 75

第2節 仏教の受容と展開

▶p.18 1 仏教の伝来と国家…………… 76

2 平安時代の仏教…………… 78

3 鎌倉時代の仏教…………… 80

第3節 近世の道徳

1 儒教の受容と武士の道徳…………… 87

▶p.20 2 朱子学への批判と儒学の新展開…………… 90

3 国学…………… 92

4 武士の道徳から庶民の道徳へ…………… 93

第4節 幕末から近代国家への移行

▶p.22 1 西洋文化の受容と対応…………… 96

2 啓蒙思想と民権思想…………… 99

第5節 近代日本の模索

1 近代の受容…………… 101

2 キリスト教と日本人…………… 104

3 民族主義の台頭…………… 105

4 近代日本の社会問題…………… 107

5 日本の哲学…………… 109

6 民衆からみた日本人のあり方…………… 110

第6節 戦争の時代とその後の日本

1 戦争への道…………… 112

2 戦後の日本思想…………… 113

第3章 現代社会への道程…………… 114

第1節 人間の尊厳

▶p.24 1 ルネサンス 人間の発見…………… 114

2 宗教改革 近代における
信仰のあり方…………… 118

3 モラリスト 有限性の自覚と
寛容の精神…………… 120

第2節 近代科学と人間

▶p.26 1 近代科学の成立…………… 122

2 近代科学の方法…………… 124

第3節 民主社会と幸福

1 人権思想の形成…………… 129

2 社会の発展と幸福の追求…………… 134

第4節 自己実現と社会参加

1 カントの思想…………… 137

2 ヘーゲルの思想…………… 140

3 社会主義の思想…………… 143

4 実存主義の思想…………… 145

5 実証主義とプラグマティズム…………… 151

第5節 新しい時代への扉

▶p.28 1 他者との間に生み出される世界…………… 153

2 無意識と欲望…………… 155

▶p.30 3 人間主体を取り巻く構造と権力…………… 157

4 理性の立て直しと
公共性の追求…………… 160

5 フェミニズム…………… 162

6 民主主義と公正の両立…………… 164

第3編 現代の諸課題と倫理

▶p.34 1 生命科学と倫理…………… 172

2 地球環境と倫理…………… 178

3 情報社会における倫理…………… 184

▶p.40 4 経済活動と倫理…………… 188

5 家族・地域社会と倫理…………… 192

6 文化・宗教の多様性と
国際理解…………… 196

7 国際平和と人類の福祉…………… 200

close up

▶p.8 ① 臨床心理の知見から学ぶ…………… 14

② 対話による哲学…………… 20

③ ヨーロッパにおける
キリスト教教会と社会…………… 45

④ 無常観と日本の文化…………… 85

⑤ 精神と身体と「私」…………… 128

⑥ 現代の心理学…………… 167

⑦ 現代アメリカの政治哲学…………… 168

⑧ 生命への畏敬…………… 169

▶p.33 ⑨ 人工知能の進化は何をもたらすか…………… 170

エピローグ 「倫理」で学んだことを
生かすために…………… 204

さくいん…………… 205

は、本資料に掲載した教科書の項目とページを示しています。

第2編では、学習指導要領に沿った、源流思想(第1章)→日本思想(第2章)→西洋思想(第3章)という配列。先哲の思想を重点的に学習します。

話題性の高いテーマで「倫理」への考察を深める特集ページ(close-up)を9箇所、設置しています。